

カートサイト「ネット西浦商事(インターネットで検索)」に生粘土や焼成画像を掲載しています。

【原土】

/kg

商品名	分類	税込価格	焼成収縮	採掘地	特徴
G-17	山砂	¥7.1	2.5%	伊賀市	白砂 素地比重の軽減と砂目の調整用
G-31	白蛙目	¥10.7	8.0%	月ヶ瀬	白土 SiO ₂ -71.5%,Al ₂ O ₃ -17.7,Fe ₂ O ₃ -1.0 鉄粉多い
G-32	松葉	¥10.7	16.5%	月ヶ瀬	赤土 ごく色の薄い赤土
G-33	黒蛙目	¥10.7	9.0%	月ヶ瀬	白土 木節と蛙目の混合物 亜炭多い
G-90	黒木節	¥14.3	7.5%	月ヶ瀬	白土 SiO ₂ -62.5%,Al ₂ O ₃ -30.5,Fe ₂ O ₃ -2.36 焼上り白
G-94	青粘土	¥11.9	13.5%	月ヶ瀬	赤土 800度前後で吸水性が無くなる
G-98	青粘土	¥11.9	12.0%	月ヶ瀬	赤土 比較的低火度で焼締まる
G-103	炔器土	¥11.9	10.5%	月ヶ瀬	赤土 ニコ系 ごく色の薄い赤土
G-152	赤土	¥11.9	16.0%	月ヶ瀬	赤土 ニコ系 細かな鉄粉が多い
G-157	2次原料	¥6.5	12.0%	信楽町	赤土 火色の調整用 炔器質 2次製品
G-161	大道土	¥73.7	4.0%	山口県	白土 砂が多い 焼き上がりは薄黄色
G-167	赤土	¥10.0	14.5%	木津川	赤土 ニコ系 比較的低火度で焼締まる
G-169	赤土	¥15.0	15.0%	伊賀市	赤土 一般的 SiO ₂ -64.5%,Al ₂ O ₃ -21.1,Fe ₂ O ₃ -7.7
G-174	黄瀬土	¥102.2	7.5%	信楽町	白土 黄瀬土としては色が濃く砂が多い
G-188	松葉	¥12.5	14.0%	伊賀市	白土 やや色が付く 粘性強い
G-191	黒蛙目	¥35.6	11.5%	月ヶ瀬	白土 粘性が強く白く焼き上がる
G-194	炔器土	¥16.6	15.0%	信楽町	白土 低温で焼締る割に焼色は白い
G-199	黒蛙目	¥15.5	10.0%	伊賀市	白土 木節と蛙目の混合物 焼色は白い
G-501	白絵土	¥23.8	12.0%	多治見	白土 粒子が細かい 低級カオリン扱い
G-502	丹波赤土	¥24.0	12.5%	篠山市	赤土 粘性が弱く成形は困難 焼色濃い
G-503	青蛙目	¥20.2	4.0%	信楽町	赤土 砂気が多い ごく薄い赤土
G-504	黄土	¥22.6	16.5%	多治見	赤土 緻密な黄土 黒く焼き上がる
G-505	岸岳	¥190.1	7.2%	唐津市	赤土 細かい砂が多く成形困難
G-506	黄土	¥9.5	7.5%	月ヶ瀬	赤土 荒い砂が多く成形困難
G-507	黒木節	¥10.7	14.0%	月ヶ瀬	白土 木節と蛙目の混合物
G-509	石見粘土	¥33.3	12.5%	島根県	白土 ニコ系 砂気が少なくやや色が付く
G-510	白蛙目	¥17.1	11.5%	恵那市	白土 荒い砂が多い 白く焼き上がる
G-512	青土	¥15.0	18.2%	甲賀市	赤土 大きな鉄粉など不純物が多い
G-513	信楽土	¥9.3	6.0%	信楽町	白土 砂気が多く黄味がかかる

表示価格は8%の消費税込です。端数を四捨五入しています。

分類-通称。色名は生色を差している事が多い。

収縮率-数値が高いほど粘性が高く緻密と取れる。

原土・原鉱-山から掘ったままの状態。荷作り前の天候に左右され水分を5~20%含む。

蛙目粘土-花崗岩の分解によってできる一次カオリンの転位したもの。珪長石を多く含む。

カオリン-カオリナイトを主成分とした一次粘土。耐火度が高く可塑性が小さい。色は白い。

木節粘土-漂積粘土の代表的なもの。耐火度は高いが不純物が多い。可塑性・収縮が大きい。

松葉粘土-鉱山の表面に近い場所から採れる木節より耐火度のやや低い粘土。粘りが強く収縮が大きい。伊賀地方で、見た目の似た木節と区別する為に松の葉を差して目印としたことからの呼び名。

炔器-有色で吸水性がなく堅牢性がある器。

黄土-鉄化合物の多い火成岩などが、風化の過程で鉄化合物が粘土中に残ったもの。酸化第二鉄を多く含む。生土の色が黄色。

赤土-生土の色が赤色のもの。前項黄土を参照。

ニコ-微粒の珪砂(シルト)。可塑性の低さや水切れの原因となる。伊賀・信楽での呼び名。

珪石-石英を主成分とする岩石。素地に含まれる珪石粒は粘土との収縮の違いで石ハゼとなる。

長石-粘土に含まれる長石粒は1,250℃前後で膨れ、より熱量が加わると溶けて表面が陥没する。産地や層により溶け方や呈色に違いがある。

鬼板-鉄化合物が雨水に溶け出て褐鉄鉱となり、岩石の隙間などに沈積して固まったもの。板状で鬼瓦に似ていることからの呼び名。

2次製品-特定の原料を採取した後の残渣。

化粧掛け-素地の上に粘土の被膜を施すこと。